



# 雫石町文化財保存活用計画

(令和7年度～令和11年度)

令和7年3月

雫石町教育委員会

## 目 次

第1章 雫石町文化財保存活用計画の策定にあたって	1
1. 計画策定の背景と趣旨	
2. 計画の位置づけ	
3. 計画の期間	
4. 計画の対象	
第2章 雫石町の歴史の概要	4
第3章 雫石町内の各種文化財の概要	6
1. 指定文化財	
2. 埋蔵文化財（包蔵地）	
3. 指定外の文化財	
4. 文化的な遺産	
第4章 雫石町内の各種文化財に関する現状と課題	7
1. 文化財の保存と継承	
2. 埋蔵文化財の保護	
3. 歴史文化の学習	
第5章 取組内容及び事業計画	10
1. 取組内容	
2. 事業計画	
第6章 事業の推進体制	14
【資料編】	15
1. 計画策定の実施体制と経過	
2. 関係例規	
3. 雫石町内指定文化財一覧	
4. 雫石町内埋蔵文化財包蔵地一覧	
5. 埋蔵文化財発掘調査報告書一覧	
6. 雫石町史等各種学習資料一覧	

# 第1章 雫石町文化財保存活用計画の策定にあたって

## 1. 計画策定の背景と趣旨

雫石町では、昭和37年に雫石町文化財保護条例を制定し、貴重な歴史資料や民俗芸能、天然記念物等を「雫石町指定文化財」に指定してきました。特に貴重なものとして文化財保護法及び岩手県文化財保護条例に基づく指定等を受けたものを合わせると、町内の指定文化財は令和6年4月現在で合計32件となっています。そのほか、指定されてはいないものの、町の歴史文化を表す貴重な文化財が、町歴史民俗資料館をはじめ町内の各地に多く残っています。

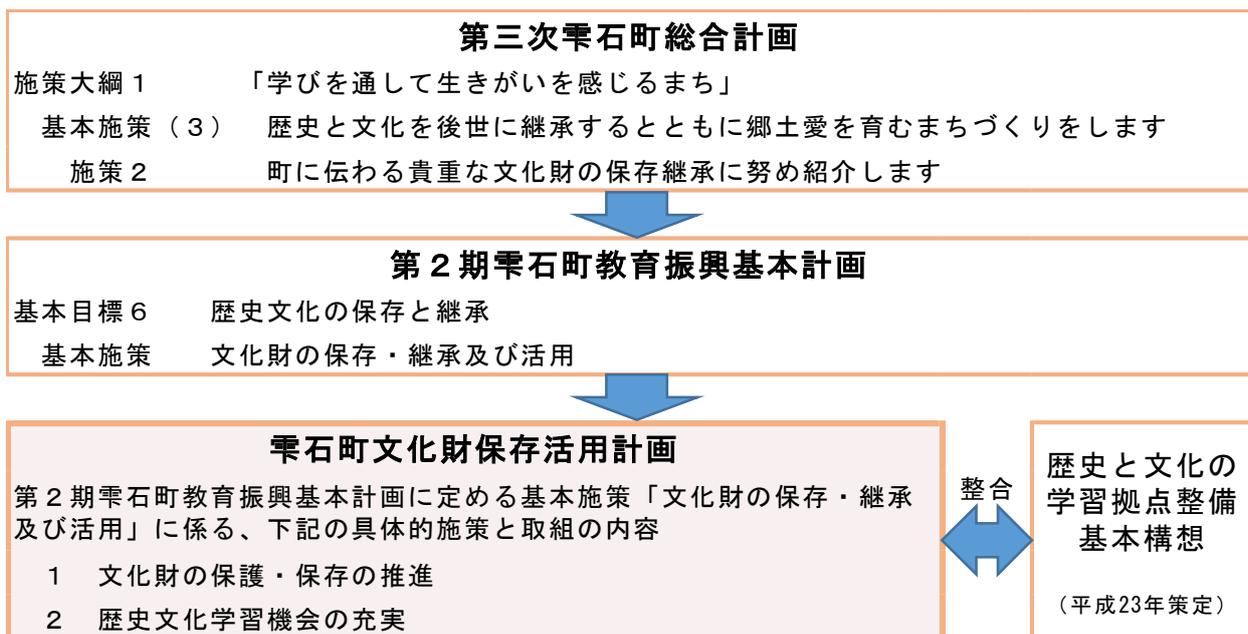
しかしながら、文化財を取り巻く環境は当町においても大きく変化しており、社会環境の変化、価値観の多様化、少子高齢化の進行などを背景に、その保存や継承は容易ではなくなってきました。また、広く知られていないものも含め、指定等されず積極的な保護の対象となっていない文化財は、災害や年月を経ることにより散逸・消失してしまうおそれが懸念されます。

一方で、文化財や伝統的な文化の価値が見直され、「まちづくり」に歴史や伝統文化を活かそうという機運も高まっております。町民が町の歴史や文化に親しみ、地域を再発見することで「ふるさと雫石」への愛着がさらに深まるような取組が求められています。

本計画は、雫石町教育振興基本計画に掲げる施策の一つである「文化財の保存・継承及び活用」に関する現状と課題を整理し、施策の推進に係る具体的な取組内容を明らかにすることで施策の継続性と実効性を高め、上位計画に掲げる理念・目標の実現を目指すものです。

## 2. 計画の位置づけ

本計画は、雫石町教育振興基本計画の施策の一つである「文化財の保存・継承及び活用」に関する施策の推進に係る具体的な取組内容を示すものとして、第三次雫石町総合計画及び第2期雫石町教育振興基本計画に掲げる理念・目標を具現化するための分野別計画です。



【計画の位置づけ（体系図）】

### 3. 計画の期間

本計画の計画期間は、最も関係性の高い第2期雫石町教育振興基本計画との整合性を考慮し、令和7年度から令和11年度までの5年間とします。

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
町総合計画	第三次雫石町総合計画(後期) 令和6～9年度				(第四次)	
町教育振興基本計画	(第1期) 令和2～6年度	第2期雫石町教育振興基本計画 令和7～11年度				
町文化財保存活用計画	—	雫石町文化財保存活用計画 令和7～11年度				

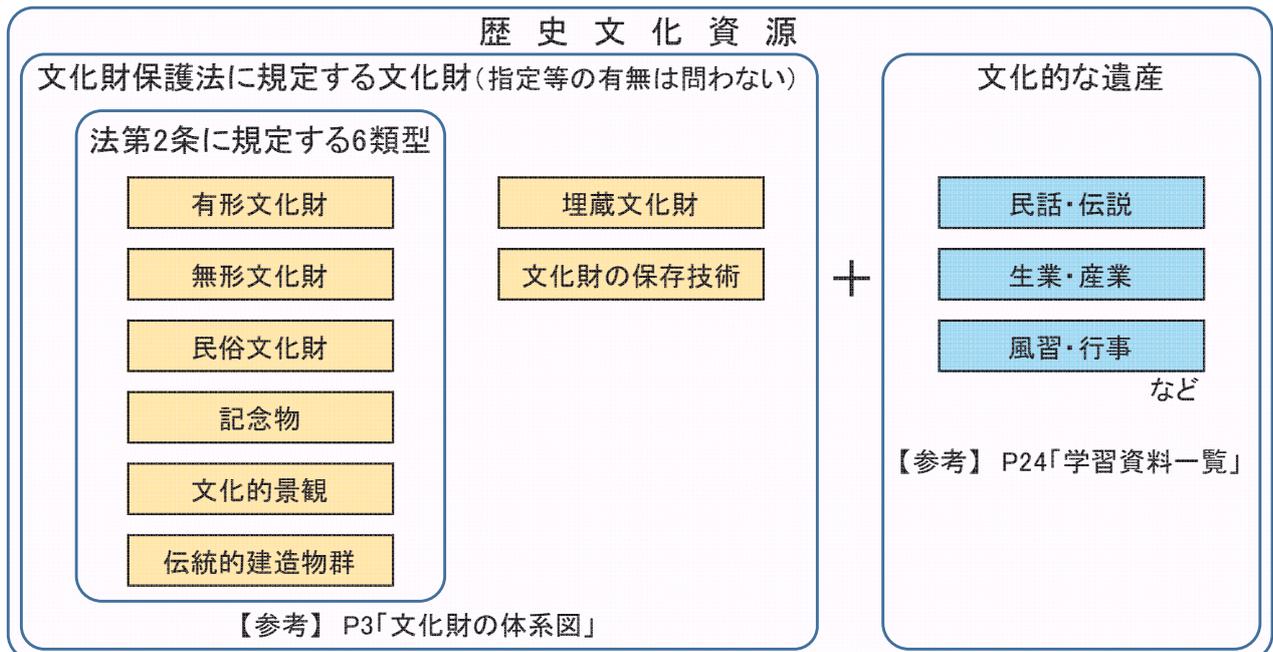
【各種計画の期間】

### 4. 計画の対象

文化財保護法（昭和25年法律第214号）では、第2条において6つの類型（有形文化財・無形文化財・民俗文化財・記念物・文化的景観・伝統的建造物群）を文化財として定義し、埋蔵文化財と文化財の保存技術についても規定しています。一方、『文化審議会文化財分科会企画調査会報告書』（平成19年10月）では、「文化財保護法に規定されている本来の文化財とは、指定等の措置が取られているか否かにかかわらず、歴史上または芸術上等の価値が高い、あるいは人々の生活の理解のために必要なすべての文化的所産を指すもの」とされています。このことを踏まえ、指定等の有無は問わないものとします。

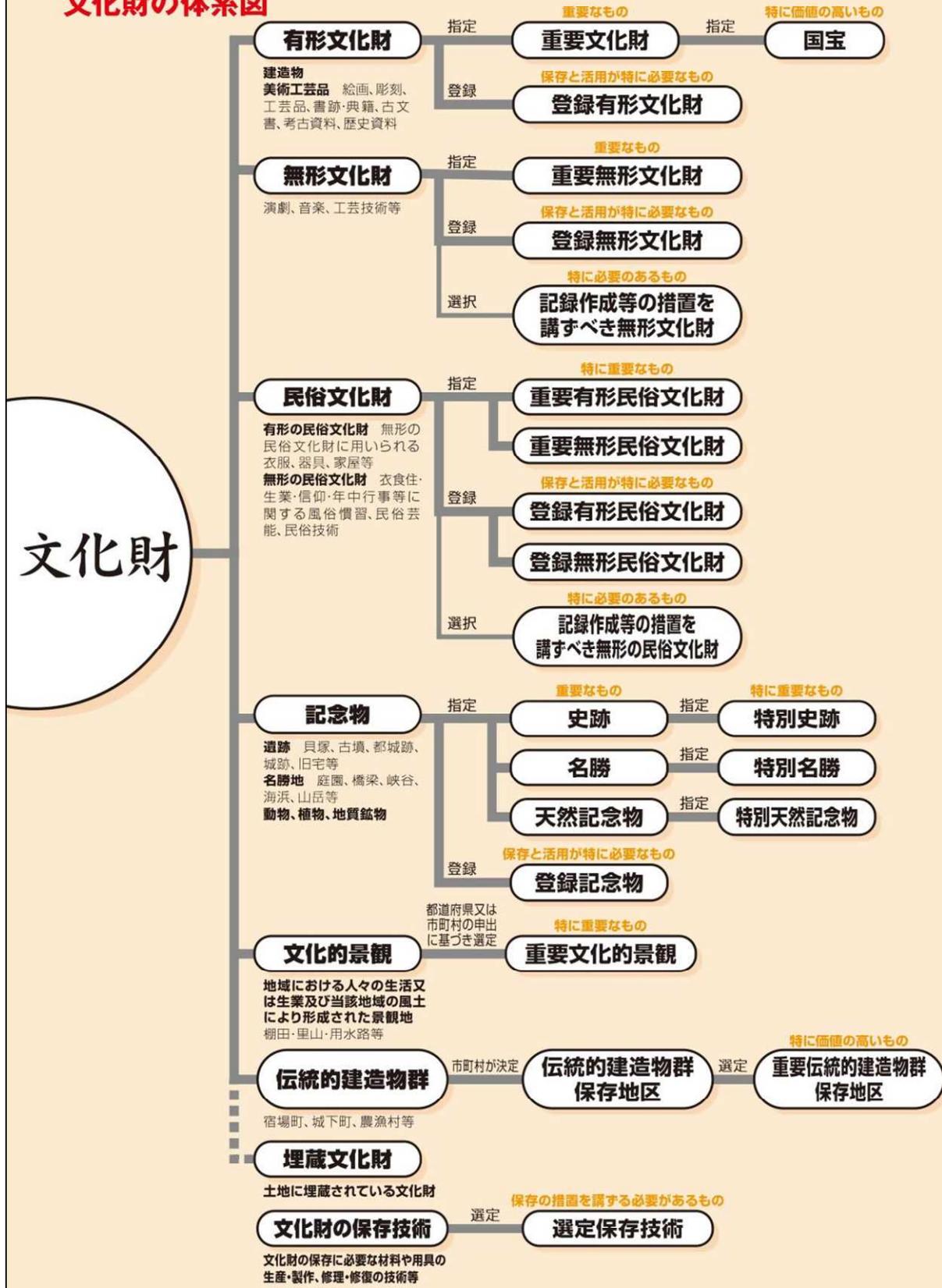
さらに上記の類型等には含まれていませんが、民話や伝説、生業・産業、風習や行事など、暮らしとの密接な関わりの中で生まれ引き継がれてきたものもあります。これらもまた町の歴史や文化を構成する重要な要素であることから、文化財に相当する「文化的な遺産」として定義します。

このため、本計画では、指定等の有無を問わず、「文化財保護法に規定する文化財」及び「文化的な遺産」を包括するものとして定義づける「歴史文化資源」をその対象とします。



【計画の対象（体系図）】

# 文化財の体系図



【文化財の体系図（文化庁ホームページ図複製）】

## 第2章 雫石町の歴史の概要

雫石町は、ほとんどが雫石盆地に含まれるという地理的な特徴から、古来比較的一体となってその歴史を歩んできました。その概要と特色は、大きく時代ごとに次のとおりです。

### (1) 先史以前

太古、雫石地方は海であり、湖でした。その名残として町内の各地には当時の地層を観察できる場所があり、海だった時代の地層（国見層ほか）からは魚や貝の化石が、湖だった時代の地層（舩沢層）からは木の葉の化石が発見されています。

### (2) 先史時代～古代

雫石地方と人のかかわりは旧石器時代に始まり、板橋Ⅲ遺跡（板橋）からは、約3万2千年前のものと見られる石器が発見されています。

縄文時代には多くの人々が暮らすようになりました。町内で確認されている211か所の遺跡のうち、およそ8割はこの時代の遺跡です。早期（約1万年前～）以降、町内の各地に生活の場が広がっていきませんが、とりわけ、塩ヶ森Ⅰ遺跡（繫5地割）や小日谷地ⅠB遺跡（小日谷地）など、雫石川の流域には大きな集落がつくられ、発掘調査でさまざまなものが見つっています。また、桜沼遺跡（名子）は、『岩手郡史』でも「本郡稀に見る先史時代遺跡」と称されたほどの大きな遺跡で、遮光器土偶が特徴的です。

対して、弥生・古墳時代の遺跡は非常に少ないものの、弥生時代の住居のようなものが見つかった伝久遺跡（西安庭第31地割）や、古墳時代のお墓が見つかった仁沢瀬Ⅳ遺跡（仁佐瀬）など、町内外から広く注目を集めている遺跡があります。

奈良・平安時代、盛岡市では志波城をはじめ数多くの遺跡が見つっています。一方、町内の遺跡は多くありません。平安時代の竪穴住居跡が見つかったとされる籬野遺跡（西安庭第11地割）の他は、仁沢瀬Ⅱ遺跡（仁佐瀬）が大きな集落跡と考えられていますが、調査の事例も少なく、詳しいことはあまりよく分かっていないのが現状です。

### (3) 中世

中世になり、ようやくこの地域が「しづくいし」と呼ばれるようになるようですが、当初は「滴石」と表記されていたことが知られています。

記録によれば、12世紀末頃、後の新庄藩主となる戸沢氏初代の衡盛が移り住んだ場所が戸沢館（西安庭第28地割）であったとされています。

南北朝時代には、戸沢（滴石）氏は南朝方に味方し、南部氏らとともに北朝方と争ったことが伝えられています。

戦国時代には、勢力を拡大してきた南部氏との抗争が激しくなり、天文9（1540）年、戸沢氏（一説には手塚氏）の滴石城は南部氏の攻撃により落城しました。その後の混乱の中滴石に入った斯波氏は、「滴石」を「雫石」に改め自らも雫石氏を名乗り城を復興したものの、天正14（1586）年、南部信直の攻略によって城は再び落城したとされています。この戦のさなか、雫石城につながる秘密の水路をめぐる、茶屋のおかみと南部氏の隠密のやりとりから生まれたという話が「よしゃれ」の伝承として後世に伝わります。その後、座敷踊りとしての「雫石よしゃれ」に発展、さらには岩手を代表する民謡「南部よしゃれ」となったことは有名な話です。

#### (4) 近世

江戸時代に入ると、雫石地方は南部（盛岡）藩の広域行政区域「雫石通」となります。後期には、雫石・繫・安庭・南畑・鶯宿・御明神・上野・橋場・西根・長山の10か村に区分され、現在の「大字」の基礎ができあがりました。

雫石通の中心となる雫石村には、それまであった城に代わって代官所が設置されました。盛岡と角館・秋田を結ぶ街道は町内を横断し、「雫石街道」や「秋田往来」と呼ばれ、幕府の巡見使や馬買衆が国見峠を越えるため、特に整備が図られました。街道沿いには一里塚（生森・高前田など）も築かれ、藩境に近い橋場には御番所が置かれました。

街道は、戊辰戦争の際には官軍の通り道となり、橋場では実際に戦いが繰り広げられました。

江戸時代には、多くの生活文化が生まれ、雫石に根付いていきました。農家の住居様式である南部曲り屋をはじめ、農業（水田・畑作）・林業（山林の維持管理・筏流し）・狩猟・水産業（漁労）に関わる各種の生活様式や使用する道具類など、その多くは戦後の高度経済成長期前まで伝わりました。年中行事や、神楽や田植踊・念仏剣舞など町内に伝わる民俗芸能の多くも、その発祥を江戸時代に求めることができます。

#### (5) 近代～現代

明治22（1889）年、市町村制の施行によって、先の10か村は雫石・御所・御明神・西山の4つの村になり、昭和15（1940）年には雫石村が町制を敷きました。

明治時代中には、現在は日本最大の民間総合農場となっている小岩井農場の開場、七ツ森の払い下げや志戸前山の下げ戻しなどの大きな出来事がありました。

近代に至っても、雫石には独特の文化が築かれ続けましたが、その最たるものは、雫石あねっこの衣装に代表される、各種の織り・染めの技術といえます。地域独自の織物として伝承されてきたとされる「亀甲織」をはじめ、昭和12（1937）年開催のパリ万博で銅賞に輝いたテーブルセンター（マダ皮と絹糸で編んだ敷物）の他、マダケラ（シナノキの皮で編んだ蓑）など、芸術作品とも言うべき工芸品も数多く生み出されました。

また、雫石は、宮沢賢治と深いつながりがあることが知られています。彼の作品の多くに雫石の地名が登場することが知られていますが、中でも「七ツ森」（七ツ森）と「狼森」（丸谷地）は、平成17（2005）年に「イーハトーブの風景地」として国の名勝に指定されています。

昭和30（1955）年4月に1町3か村が合併し雫石町となった後、御所ダムの建設がはじまり、それまで雫石川沿いに暮らしていた住民は移転することとなりましたが、その際に収集した民俗資料（民具類）が歴史民俗資料館に収められています。

（平成23年3月『歴史と文化の学習拠点整備基本構想』から引用・一部改稿）

以上の町の歴史について、先史時代から昭和30年の1町3か村合併までを集録した『雫石町史』を昭和54（1979）年に、合併から昭和60（1985）年まで30年間のできごとを集録した『雫石町史第2巻』を平成元年にそれぞれ発刊しています。

その後、先史時代から中世までの通史を全面的に改稿の上、江戸時代分を要約して集録した『雫石町史通史編 甦る雫石郷の歴史』を平成25（2013）年に発刊し、それぞれ郷土・雫石に関する学習資料としています。

## 第3章 雫石町内の各種文化財の概要

### 1. 指定文化財

令和6年4月現在、雫石町内には、重要文化財「小岩井農場施設」、名勝「イーハトーブの風景地（七つ森・狼森）」等の国指定・登録文化財が5件、史跡「雫石街道の一里塚」等の県指定文化財が2件、無形民俗文化財「雫石よしゃれ」をはじめとする町指定・選定文化財が25件、合計32件の指定文化財が所在しています。そのほか、地域を定めない国指定文化財で町内に生息が確認されているものが2件あります。【参考：P17～19・資料編3「雫石町内指定文化財一覧」】

### 2. 埋蔵文化財（包蔵地）

雫石町内の埋蔵文化財包蔵地（いわゆる「遺跡」）は、昭和40年代までに行った現地踏査の結果をもとに『雫石町史』で140か所の一覧が掲載され、以降、各種開発行為に伴う事前調査や、平成12年度から17年度にかけて行った町内遺跡詳細分布調査の結果、令和6年11月現在では211か所に増加しています。【参考：P20・資料編4「雫石町内埋蔵文化財包蔵地一覧」】

このうち、主に御所ダム建設や圃場整備をはじめとする各種開発等に伴い、合計31か所の遺跡で発掘調査が行われています。それぞれ、見つかった遺構や遺物など得られた成果については、概ね埋蔵文化財発掘調査報告書にまとめられ、公表されています。

また、住宅建築をはじめとする各種開発に伴う埋蔵文化財の取扱いについては、雫石町埋蔵文化財事務取扱要綱に基づき事務処理を行っています。年間数十件の照会に対応しながら、必要に応じて試掘調査や工事立会を行い埋蔵文化財の適正な保護と保存に努めています。

なお、近年では平成30年度と令和6年度に記録保存のための発掘調査（本調査）を1件ずつ実施しています。【参考：P25・資料編5「埋蔵文化財発掘調査報告書一覧」】

### 3. 指定外の文化財

指定外の文化財の中では、石碑と民俗芸能について悉皆レベルの調査と集成を、また古文書の一部について解読等を行っています。それぞれ、まとめたものを町教育委員会で「雫石町誌史料集」や「心のふるさとシリーズ」に集録し、発刊しています。その他については、随時単発的な調査を行っています。【参考：P26・資料編6「雫石町史等各種学習資料一覧」】

御所ダム建設を契機として建設、昭和49年に開館した雫石町歴史民俗資料館には、主に昭和30年代頃まで町内で使用されてきた暮らしに関わる民俗資料をはじめ、各種の歴史資料を保管、展示してきました。現在は、収蔵量の増加に伴い多くを旧西根小学校に移送し保管しています。

### 4. 文化的な遺産

雫石町には、地理的な特徴や、人々の暮らしの中で生まれた民話・伝説、風習等が各地に伝えられてきました。これらの一部は、『雫石町史』の編さん等を契機に悉皆調査を行っており、「心のふるさとシリーズ」等に集録し、発刊しています。【参考：P26・資料編6「雫石町史等各種学習資料一覧」】

## 第4章 雫石町内の各種文化財に関する現状と課題

雫石町内の各種文化財に関する現状と課題について、雫石町教育振興基本計画（令和2～6年度）に基づく施策の基本方針ごとに整理します。

基本施策	基本方針	主な取組
文化財の保存・継承及び活用	1. 文化財の保存と継承	伝統芸能の後継者育成
	2. 埋蔵文化財の保護	確認調査と指導助言
	3. 歴史文化の学習	歴史学習機会の創出

【雫石町教育振興基本計画（令和2～6年度）の基本施策・基本方針及び主な取組】

### 1. 文化財の保存と継承

#### (1) 指定文化財

##### ア) 有形の文化財

###### 【現状及び問題点】

- ・概ね良好に保存されています。
- ・経年による劣化や老朽化の進行で、滅失・消失やき損の恐れがあります。

###### 【課題】

- ・引き続き良好な保存環境を維持することが必要です。
- ・所有者等との連絡協調を図りながら、劣化や老朽化への適時対応と支援が必要です。

##### イ) 無形の文化財

###### 【現状及び問題点】

- ・価値観や生活様式の多様化、人口減少、少子化により、担い手が減少しています。
- ・特に、民俗芸能は保持団体内での継承が難しくなるなど断絶の恐れがあります。

###### 【課題】

- ・子どもから高齢者まで幅広い年代の参加促進や公開の場の確保により、保存伝承に取り組みやすい環境をできる限り維持することが必要です。

#### (2) 未指定の文化財及び文化的な遺産

##### ア) 悉皆調査等実施済のもの

###### 【現状及び問題点】

- ・調査実施以降の周辺環境の変化により、滅失・消失やき損の恐れがあります。

###### 【課題】

- ・追跡調査を行い、現状を再確認する必要があります。
- ・価値把握のための調査を行い、必要に応じ町指定による保護を図る必要があります。

##### イ) 悉皆調査等未実施のもの

###### 【現状及び問題点】

- ・各種の有形の文化財に限らず、自然や風景など、調査が行われていない分野にも存在するであろう貴重なものが、価値を見出されないまま失われてしまう恐れがあります。

###### 【課題】

- ・未知の文化財の掘り起こしと確認に努める必要があります。

## 2. 埋蔵文化財の保護

### (1) 遺跡情報の把握

#### 【現状及び問題点】

- ・町内遺跡詳細分布調査以降の経年により、遺跡の状況が変化している可能性があります。
- ・城館跡や古墳をはじめ、現地踏査のみで内容や性格が分かりにくい遺跡は、適切な評価や保護につながらない恐れがあります。

#### 【課題】

- ・遺跡分布に関する再確認調査を行って、現状に即した遺跡情報に更新をしていく必要があります。
- ・遺跡情報の把握に加え、歴史解明のため研究目的の調査も検討することが必要です。

### (2) 各種開発事業に係る調整と記録保存目的の発掘調査の実施

#### ア) 各種開発事業に係る調整

##### 【現状及び問題点】

- ・事前の試掘調査、工事立会及び必要な事務手続きは法律及び要綱の規定に基づき実施しています。

##### 【課題】

- ・専門的な知識経験を有する職員による、事務手続きの適正かつ迅速な実施に努めることが必要です。

#### イ) 記録保存目的の発掘調査の実施

##### 【現状及び問題点】

- ・整理作業が完了していないため、報告書が未完で調査成果の共有と理解を十分に行うことが難しい遺跡があります。

##### 【課題】

- ・未完となっている報告書の作成と発刊を行うことが必要です。

### (3) 出土資料の保管と活用

#### 【現状及び問題点】

- ・歴史民俗資料館に展示保管する資料は特に問題ありませんが、旧西根小学校保管資料の中には整理が中途なままとなっているものがあります。
- ・近年の学問的知見の蓄積によって、過去に整理済の資料の中からも新たな発見が得られる可能性があります。
- ・岩手県が実施した町内遺跡の発掘調査出土資料には重要なものも多く含まれており、一括が原則ではあるものの、譲与を受けることで展示と活用の充実に期待が持てます。

#### 【課題】

- ・県保管遺物引き受け後の対応も含め、旧西根小学校利活用の一環として出土資料の適正な保管に努める必要があります。
- ・中途となっている資料の整理のほか、譲与後の県保管遺物や整理済出土資料の再整理も検討しながら出土資料を総括して評価し、歴史民俗資料館の展示をはじめとするより良い活用を図っていくことが必要です。

### 3. 歴史文化の学習

#### (1) 歴史民俗資料館収蔵資料の保管と管理

##### 【現状及び問題点】

- ・出土資料と同様に、歴史民俗資料館に展示保管する資料は特に問題ありませんが、旧西根小学校に保管している資料の中には、整理が中途のものがあります。
- ・平成 23 年度までの受入資料及び映像音声資料はデジタル化の実施により台帳整備が整っているものの、以降の受入資料についてはデジタル化を含む台帳整備が十分に進んでいないのが現状です。

##### 【課題】

- ・旧西根小学校利活用の一環として資料の適正な保管に努めながら、整理や台帳整備が中途となっている資料の登録や調査を行って、収蔵資料の整理と台帳整備を図る必要があります。

#### (2) 『雫石町史』の編さん及び関係書籍の作成・発行

##### 【現状及び問題点】

- ・『雫石町史』は第 2 巻の発刊から 30 年以上を経過していますが、発刊の間隔が開きすぎると通史としての編さん作業そのものに支障が出る可能性があります。
- ・町史以外の既刊資料は編集や発刊から相当の年数が経過しており、中には在庫がなくなり頒布できなくなっているものもあります。

##### 【課題】

- ・『雫石町史 第 2 巻』続編の編さんと発刊に早期に取り組む必要があります。
- ・既刊資料については書籍としての増刷に拘らず、デジタル化による復刻などにより、将来にわたって幅広く学習資料として提供していく必要があります。

#### (3) 歴史民俗資料館の活用を含む歴史学習機会の創出と提供

##### 【現状及び問題点】

- ・資料館施設は老朽化や狭隘化があるものの、展示資料及び講座については来館者や受講者から高い評価を受けており、学習ニーズには概ね応えられています。
- ・平成 23 年度までの受入資料及び映像資料については、デジタル化の実施によりデジタルアーカイブ化の素地もある程度出来上がっています。
- ・町教育委員会の主催に限らず、郷土史団体との共催等により各種歴史講座を開催しています。
- ・無形文化財芸能祭の記録映像を含む指定文化財の概要を町ホームページで公開しているほか、残部のある既刊資料は担当課の窓口や歴史民俗資料館で頒布しています。

##### 【課題】

- ・歴史学習の効果を高めていくため、展示資料の精選と充実化をはじめ、「歴史と文化の学習拠点基本構想」に掲げる性格と機能を発揮できるよう、さらなる歴史民俗資料館の活用に取り組む必要があります。
- ・関係団体等との一層の連携のもと、幅広い世代を対象とした学習機会を継続的に創出していく必要があります。

## 第5章 取組内容及び事業計画

第2期雫石町教育振興基本計画の「歴史文化の保存と継承」に関し設定した下記の基本方針・主な取組と概要に基づき、町内の文化財に関する現状と課題を踏まえ、具体的な取組内容と事業計画を設定します。

基本方針	主な取組	概要
文化財の保護・保存の推進	文化財の指定と指定文化財の保護	町の貴重な歴史を伝える文化財の調査を行い、指定するとともに、指定文化財の保護・保存と周知活用を進めます。
	民俗芸能の保存伝承	民俗芸能の伝承に向け、公開の機会を創出し、演目の記録と後継者の育成を図ります。
	埋蔵文化財の保護	遺跡の現状確認と各種開発等に係る調整を行いながら、必要に応じ調査を実施し、得られた資料を適切に保管するなどして遺跡の状態を適切に保ちます。
歴史文化学習機会の充実	歴史学習機会の創出と支援	郷土史団体等と連携協力し、町の歴史や文化を学べる講座・教室の実施と開催を支援します。
	学習資料の整備充実	『雫石町史』をはじめとする学習資料の製作・発行と、既刊資料の利用環境の向上を図ります。
	各種歴史資源の活用	歴史民俗資料館を中心に、曲り屋を含め、収蔵保管する町の貴重な歴史や民俗資料の整理と調査を進め、展示による周知と活用を図ります。

【第2期雫石町教育振興基本計画（令和7～11年度）の基本方針及び主な取組と概要】

### 1. 取組内容

#### 【文化財の保護・保存の推進】

##### ○文化財の指定と指定文化財の保護

###### 1) 未指定文化財の調査

- ・文化的な遺産を含み、悉皆調査等実施済のものは追跡調査を行って現状を再確認します。そのほか悉皆調査等未実施のものは、その掘り起こしと確認を進めます。

###### 2) 文化財の指定

- ・確認された文化財のうち、町の歴史文化を考える上で重要と思われるものについては、専門家等による調査と町文化財保護審議会への諮問を経て、文化財に指定します。

###### 3) 指定文化財の保護・保存と活用

- ・有形の各種文化財は、所有者等との連絡協調を図りながら劣化や老朽化に対して適時に対応と支援を行います。また、無形の各種文化財は、参加促進や公開の場の確保による保存環境の維持を図ります。
- ・案内板や解説資料の作成と公開、学習会や公演等の企画運営を行い、指定文化財の周知と活用を図ります。

##### ○民俗芸能の保存伝承

- ・指定の有無にかかわらず、特にも保存伝承に関する環境が厳しさを増している民俗芸能については、幅広い年代の参加促進や公開の場の確保、演目の記録により、保存伝承に取り組みやすい環境の維持を図ります。

## ○埋蔵文化財の保護

### 1) 遺跡情報の把握

- ・町内遺跡詳細分布調査を行い、現状に即した遺跡情報に更新を行います。また、性格等が分かりにくい遺跡は、歴史解明のための発掘調査の実施も検討し、より正確な遺跡情報の把握に努めます。

### 2) 各種開発事業との調整

- ・文化財保護法及び雫石町埋蔵文化財事務取扱規程に基づき、専門的な知識経験を有する職員により、各種開発事業に係る諸手続きを適正かつ迅速に実施します。
- ・記録保存目的の発掘調査の実施が見込まれる場合は、十分な体制による適切な調査が実施されるよう、関係機関等との調整を行います。

### 3) 出土資料の保管と活用

- ・整理途上となっている出土資料の整理と報告書の刊行を行います。
- ・岩手県が実施し、保管している町内遺跡の出土資料の譲与に向けた準備を進めます。
- ・出土資料を整理して台帳整備を行い、旧西根小学校を含め資料の適正な保管に努めます。
- ・貴重と思われる資料については専門家等による調査を行い、歴史民俗資料館の展示の充実化につなげます。

## 【歴史文化学習機会の充実】

### ○歴史学習機会の創出と支援

- ・町内の歴史文化に関わる団体や組織と連携協力し、学習会や見学会をはじめとする幅広い世代を対象とした学習機会を創出します。

### ○学習資料の整備充実

#### 1) 『雫石町史』の編さん及び関係書籍の作成・発行

- ・『雫石町史 第3巻』の編さんと発刊に取り組みます。
- ・『雫石町史』の編さんに伴い収集した郷土資料や未指定文化財に関する調査結果を、「町誌史料」や「心のふるさとシリーズ」等の資料集にまとめ発行します。

#### 2) 既刊書籍の活用

- ・『雫石町史』をはじめとする既刊の郷土学習資料のデジタル化と公表に取り組みます。

### ○各種歴史文化資源の活用

#### 1) 歴史民俗資料館の活用

- ・曲り屋や旧西根小学校を含め、歴史民俗資料館及び関連施設の維持管理を図ります。
- ・出土資料を含む資料館収蔵資料を整理し、台帳整備を行い、資料の適正な保管に努めます。
- ・展示資料の入れ替え、特別展の開催、学習資料の作成等により資料館の魅力を高め、来館の促進を図ります。
- ・資料館収蔵資料を使った体験メニューの開発と実践を行い、見るだけでなく触れることのできる資料として、より効果的な活用を図ります。

#### 2) 各種文化財の活用

- ・歴史文化に関わる団体や組織と連携協力し、案内板や解説資料の作成と公開、学習会や公演等の企画運営を行い、指定の有無に関わらず各種の文化財の周知と活用を図ります。

## 2. 事業計画

### 【文化財の保護・保存の推進】

#### ○文化財の指定と指定文化財の保護

取組内容	詳細	実施年度				
		7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
未指定文化財の調査	既知の文化財の追跡(再確認)調査					
	未知の文化財の掘り起こしと確認					
文化財の指定	指定に向けた価値把握のための調査					
	指定手続き(諮問等)					
指定文化財の保護・保存と活用	文化財パトロール					
	保存修理・公開等に要する補助金の交付					
	案内板・解説資料の作成と公開					
	学習会・公演等普及事業の企画運営					

#### ○民俗芸能の保存伝承

取組内容	詳細	実施年度				
		7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
民俗芸能の保存伝承	無形文化財芸能祭の開催					
	芸能演目の映像記録保存					
	各保存団体による連合組織の運営					

#### ○埋蔵文化財の保護

取組内容	詳細	実施年度				
		7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
遺跡情報の把握	町内遺跡詳細分布調査の実施					
	学術的発掘調査の検討及び実施					
各種開発事業との調整	法令等に基づく事務手続きの実施					
	記録保存目的の発掘調査に係る調整					
出土資料の保管と活用	整理途上の出土資料整理と報告書刊行					
	県保管遺物の譲与と再整理					
	資料台帳整備と資料館等での資料活用					

【歴史文化学習機会の充実】

○歴史学習機会の創出と支援

取組内容	詳細	実施年度				
		7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
歴史学習機会の創出と支援	町内関係団体・組織との連携協力	→				
	学習会・見学会等学習機会の創出	→				

○学習資料の整備充実

取組内容	詳細	実施年度				
		7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
『雫石町史』の編さん及び関係書籍の作成・発行	『雫石町史 第3巻』の編さん	→				
	各種郷土資料の集成と資料集の発行		→			
既刊書籍の活用	既刊資料のデジタル化と公表	→				

○各種歴史文化資源の活用

取組内容	詳細	実施年度				
		7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
歴史民俗資料館の活用	曲り屋等を含む資料館及び関連施設の維持管理	→				
	資料台帳整備と資料館等での資料活用		→			
	展示資料入れ替え・特別展の開催及び学習資料(普及啓発資料)の作成			→		
	資料館体験学習メニューの開発と実践	→				
各種文化財の活用	町内関係団体・組織との連携協力(再掲)	→				
	案内板・解説資料の作成と公開(再掲)	→				
	学習会・公演等普及事業の企画運営(再掲)	→				

## 第6章 事業の推進体制

本計画の推進と進捗管理は、文化財保護施策を所管する部署（教育委員会事務局生涯文化スポーツ課）が担います。

計画の実施にあたっては、特に埋蔵文化財保護行政の推進に関し専門性が必要とされることから、人材の確保と知識経験の継承にも常時取り組みながら、庁内関係課及び関係機関・団体との連携により行います。また、事業の進捗状況については雫石町文化財保護審議会において報告と協議を行い、計画的な事業の推進を図るものとします。



【本計画のPDCAサイクルのイメージ】

### 【目指す成果指標（第2期雫石町教育振興基本計画）】

成果指標	現在値（令和5年度）	目標値（令和11年度）
①町内指定文化財件数	32件	35件
②歴史民俗資料館年間利用者数	801人	1,200人

【資料編】

1. 計画策定の実施体制及び経過

(1) 雫石町文化財保存活用計画策定委員会 委員名簿

(任期：令和6年10月8日～令和7年3月24日)

役 職	氏 名	備 考
委員長	高橋 司	
	高橋 良和	
副委員長	菅原 好美	
	小田 晴世	
	東 淳樹	
	沼田 昭	

(2) 計画策定の経緯

期日	内容
令和6年6月25日	雫石町文化財保護審議会 ・協議（文化財保護行政の推進に係る計画の策定について）
令和6年10月8日	第1回雫石町文化財保存活用計画策定委員会 ・委嘱状交付 ・報告（第2期雫石町教育振興基本計画について） ・協議（（仮称）雫石町文化財保存活用計画の骨子について）
令和6年11月28日	第2回雫石町文化財保存活用計画策定委員会 ・報告（第2期雫石町教育振興基本計画について） ・協議（（仮称）雫石町文化財保存活用計画の内容について）
令和6年12月20日	雫石町教育委員会12月定例会 ・計画（案）説明
令和7年1月7日 ～2月6日	パブリックコメントの実施 ・1名から5件の意見等を受理
令和7年2月13日	第2回雫石町文化財保護審議会 ・計画（案）に係る諮問及び答申
令和7年3月24日	雫石町教育委員会3月定例会 ・計画（案）上程 ※議決により（案）のとおり策定

## 2. 関係例規

### ○雫石町文化財保存活用計画策定委員会設置要綱

令和6年9月25日雫石町教育委員会告示第2号

#### 雫石町文化財保存活用計画策定委員会設置要綱

##### (設置)

第1条 雫石町に存する各種の貴重な文化財を適正に保護保存し、将来にわたって継承していくための指針となる(仮称)雫石町文化財保存活用計画(以下「計画」という。)の策定に必要な事項について検討するため、雫石町文化財保存活用計画策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

##### (所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について検討を行う。

- (1) 計画の策定に係る検討及び協議に関すること。
- (2) その他計画の策定に当たり必要な事項に関すること。

##### (組織)

第3条 委員会は、委員7人以内をもって組織し、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

(1) 雫石町文化財保護審議会委員

(2) その他、教育長が特に必要があると認めた者

2 委員会に、委員長及び副委員長各1人を、委員の互選により定める。

3 委員の任期は、委嘱の日から令和7年3月31日までとし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

##### (会議)

第4条 委員会の会議は、教育長が招集する。

2 会議は、非開示情報が明らかになる場合その他正当な理由がある場合を除き、公開する。

3 会長は、必要と認めたときは、委員以外の者に出席を求め、意見を聴くことができる。

##### (謝金)

第5条 委員会の委員には、予算の範囲内において謝金を支給するものとする。

##### (庶務)

第6条 委員会の庶務は、教育委員会事務局生涯文化スポーツ課において行う。

##### (補則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、教育長が定める。

#### 附 則

##### (施行期日)

1 この告示は、告示の日から施行する。

##### (告示の失効)

2 この告示は、計画策定の日をもって、その効力を失う。

### 3. 雫石町内指定文化財一覧（令和6年4月現在）

区分	類	型	名	称	所 在 地	所 有 者	指定等年月日	
国指定及び登録	重要文化財		小岩井農場施設	丸谷地	(公財)小岩井農場財団	平成29.2.23		
			本部事務所					
			本部第一号倉庫					
			本部第二号倉庫					
			乗馬厩					
			倶楽部					
			第一号牛舎					
			第二号牛舎					
			第三号牛舎					
			第四号牛舎					
			種牡牛舎					
			育牛部倉庫					
			第一号サイロ					
			第二号サイロ					
			秤量場					
			冷蔵庫					
			四階建倉庫					
玉蜀黍小屋(四棟)								
耕耘部倉庫								
記念物	名勝	イーハトーブの風景地					平成17.3.2	
		七ツ森	七ツ森	町				
		狼森	丸谷地	小岩井農牧(株)				
登録有形文化財	天然記念物(地質・鉱物)	葛根田の大岩屋	長山	国	昭和18.2.19			
	上和野馬頭観世音本堂	上野	(宗)上和野馬頭観世音	平成28.8.1				
		上和野馬頭観世音旧堂	上野	(宗)上和野馬頭観世音	平成28.8.1			
地域を定めない国指定文化財								
・ニホンカモシカ(特別天然記念物)								
・ヤマネ(天然記念物)								
県指定	記念物	史跡	雫石街道の一里塚					昭和44.6.6
			生森一里塚2基	七ツ森・繫	個人			
			高前田一里塚2基	小日谷地・長山	町			
	天然記念物(動物)	白沼のモリアオガエル繁殖地	西根	国	昭和31.7.25			

区分	類	型	名	称	所 在 地	所 有 者	指 定 等 年 月 日
町 指 定 及 び 選 定	有 形	工 芸 品	鉄造神形座像懸仏		上野	個人	平成6.7.1
			金銅如来座像懸仏		西安庭	個人	平成6.7.1
			金銅独尊座像懸仏		西安庭	個人	平成6.7.1
		歴 史 資 料	旧秋田街道国見峠の盛岡領境の石標		橋場		平成30.6.20
			旧秋田街道長山街道分岐の道路指導標		仁佐瀬		平成30.6.20
	民 俗	有 形	奉供養庚申塔		長山	個人	令和2.9.23
			無 形	葛根田田植踊			葛根田田植踊保存会
		山祇神楽				山祇神楽保存会	昭和42.5.20
		篠川原剣舞				篠川原剣舞保存会	昭和49.1.22
		西根念仏剣舞				西根念仏剣舞保存会	昭和61.4.11
		安庭あやつり人形芝居				あやつり人形芝居保存会	平成10.11.23
		上長山角力甚句				上長山無形文化財振興会	平成10.11.23
		雫石のどどさい節				安庭民踊省一会	平成10.11.23
		雫石の男よしゃれ				上長山無形文化財振興会	平成10.11.23
		南部雫石茶屋ふくし				安庭民踊省一会	平成19.4.3
		雫石よしゃれ				雫石よしゃれ保存会	平成22.3.4
					上長山無形文化財振興会		
					安庭民踊省一会		
	雫石裸参り			雫石裸参り実行委員会	平成30.2.20		
	記念物	天然記念物 (動物)	チョウセンアカシジミ		町内		平成元.7.21
		天然記念物 (植物)	山祇神社の姥杉		南畑		平成6.7.1
			多賀神社の姥木(杉)		御明神		平成6.7.1
			七ツ田の弘法桜		長山		平成6.7.1
雫石神社の杉				西根		平成6.7.1	
横欠のからかさ松				上野		平成17.3.4	
岩手山神社の夫婦杉				長山		平成24.3.1	
選 定 保 存 技 術		雫石亀甲織			しずくいし麻の会	平成17.3.4	



国指定重要文化財 小岩井農場施設（本部事務所）  
※写真提供 （公財）小岩井農場財団



国指定名勝 イーハトープの風景地（七つ森）



国登録有形文化財 上和野馬頭観世音本堂



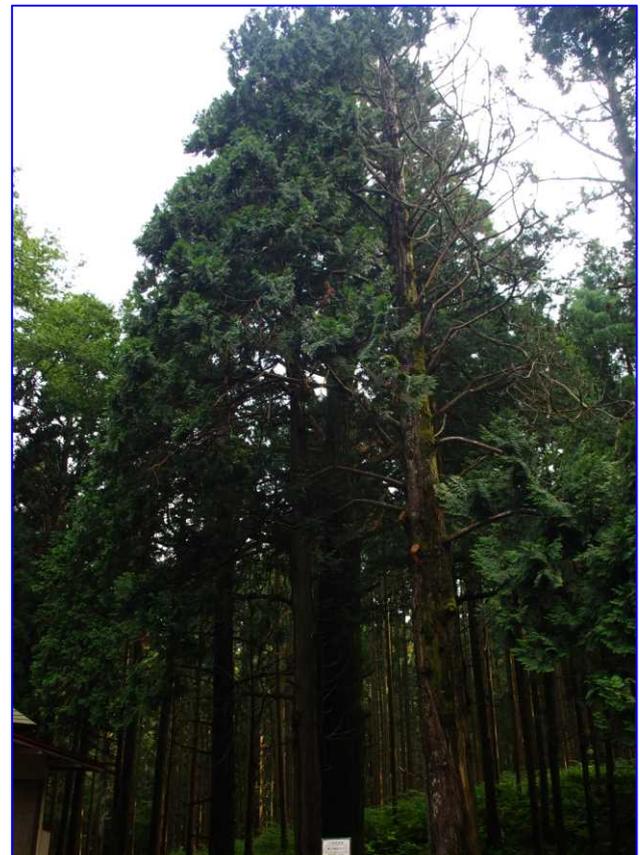
県指定史跡 雫石街道の一里塚（生森一里塚）



町指定有形文化財  
金銅如来坐像懸仏・金銅独尊坐像懸仏



町指定無形民俗文化財 雫石よしゃれ



町指定天然記念物（植物） 雫石神社の杉

#### 4. 雫石町内埋蔵文化財包蔵地一覧（令和6年11月現在）

※網掛け部：「発掘調査を実施した」遺跡

No.	県遺跡コード	遺跡名	所在地	時代	種別	発見年度	調査経歴・備考
1	LE12-0336	柿木遺跡	柿木	縄文（不明）	散布地	既知	S53一部調査（高校西遺跡）
2	LE12-0357	柿木館跡	柿木	中世	城館跡	既知	
3	LE12-1209	雫石街道の一里塚（高前田一里塚）	長山高前田 小日谷地	近世	一里塚	既知	2基現存 S40内容確認調査 S44指定県史跡
4	LE12-1300	高前田Ⅰ遺跡	長山高前田 高前田 小日谷地	縄文（中～後？）	集落跡	既知	
5	LE12-0391	高前田古墳群	高前田	不明	墳墓	既知	2基現存
6	LE12-0382	高前田Ⅱ遺跡	高前田	縄文（後～晩？）	集落跡	既知	
7	LE12-0385	高前田Ⅲ遺跡	高前田	縄文（不明）	散布地	既知	
8	LE12-0391	高前田Ⅳ遺跡	高前田	縄文（不明）	散布地	H12	
9	LE12-1320	小日谷地ⅠA遺跡	小日谷地	縄文（不明）	集落跡	既知	H11名称変更（旧：小日谷地ⅠB）
10	LE12-1331	小日谷地ⅠB遺跡	小日谷地	縄文（前～中）	集落跡	既知	H11名称変更（旧：小日谷地ⅠA）・一部調査 H14～16・18・21・24～27一部調査
11	LE12-1322	小日谷地Ⅱ遺跡	小日谷地	縄文（不明）	散布地	既知	
12	LE12-1323	小日谷地Ⅲ遺跡	小日谷地	縄文（早～前）	集落跡	既知	
13	LE12-1314	小日谷地Ⅳ遺跡	小日谷地	縄文（不明）	散布地	既知	
14	LE12-1334	小日谷地Ⅴ遺跡	小日谷地	縄文（不明）	散布地	既知	H12名称訂正（旧：小日谷地Ⅱ）
15	LE12-1347	八卦Ⅰ遺跡	八卦	縄文（中） 古代（奈良？）	集落跡	既知	
16	LE12-1348	八卦Ⅱ遺跡	八卦	縄文（不明）	散布地	既知	
17	LE12-1345	八卦Ⅲ遺跡	八卦	縄文（前～中）	集落跡	既知	
18	LE12-1317	八卦Ⅳ遺跡	八卦	縄文（不明）	散布地	H12	
19	LE12-1344	八卦堂古墳	八卦	不明	墳墓	既知	1基現存
20	LE12-1358	麻見田Ⅰ遺跡	麻見田	縄文（早～前）	集落跡	既知	
21	LE12-1357	麻見田Ⅱ遺跡	麻見田	縄文（不明）	散布地	既知	
22	LE12-1359	源太堂館跡	麻見田	中世	城館跡	既知	
23	LE13-1001	万田渡Ⅰ遺跡	万田渡	縄文（不明）	散布地	既知	
24	LE13-1011	万田渡Ⅱ遺跡	万田渡	縄文（不明）	散布地	既知	
25	LE13-1012	北浦館跡	万田渡	古代（平安）	城館跡	既知	
26	LE13-1181	下町遺跡	下町東	縄文（中）	集落跡	既知	
27	LE13-1180	雫石城跡（滴石城跡）	下町 下町東	中世	城館跡	既知	H30一部調査
28	LE13-1051	源大堂Ⅰ遺跡	源大堂	縄文（不明）	散布地	既知	H12名称変更（旧：源大堂Ⅰ）
29	LE13-1040	源大堂Ⅱ遺跡	源大堂	縄文（不明）	散布地	既知	H12名称変更（旧：源大堂Ⅱ）
30	LE13-1112	桜沼遺跡	名子	縄文（後～晩）	集落跡	既知	S49一部調査
31	LE13-1143	名子Ⅰ遺跡	下曾根田	縄文（早～前・後）	集落跡	既知	
32	LE13-1115	名子Ⅱ遺跡	名子 下平	縄文（後～晩） 古代（平安）	集落跡	既知	
33	LE13-1109	長畑遺跡	長畑	縄文（不明）	散布地	既知	
34	LE13-1165	下平Ⅰ遺跡	下平	縄文（早・中・晩） 中世	集落跡	既知	S52一部調査
35	LE13-1146	下平Ⅱ遺跡	下平 長畑	縄文（晩）	集落跡	既知	H12統合（下平＋黒沢川東岸）
36	LE13-1272	七ツ森Ⅱ遺跡	七ツ森	縄文（不明）	集落跡	既知	H12名称変更（旧：七ツ森）
37	LE13-1259	雫石街道の一里塚（生森一里塚）	七ツ森 繫第5地割	近世	一里塚	既知	2基現存 S41内容確認調査 S44指定県史跡
38	LE13-1327	東町遺跡	七ツ森	縄文（不明） 古代（奈良？）	集落跡	既知	
39	LE13-1345	七ツ森Ⅰ遺跡	七ツ森 繫第5地割	縄文（中）	散布地	既知	
40	LE13-1318	板橋Ⅳ遺跡	板橋	縄文（前？）	散布地	H12	
41	LE13-0349	七ツ森Ⅲ遺跡	七ツ森	縄文（不明）	散布地	H12	
42	LE14-0092	板橋Ⅰ遺跡	板橋 盛岡市に隣接	縄文（中） 古代（奈良？）	集落跡	既知	
43	LE14-0066	板橋Ⅱ遺跡	板橋 盛岡市に隣接	縄文（不明） 古代（奈良？）	集落跡	既知	

No.	県遺跡コード	遺跡名	所在地	時代	種別	発見年度	調査経歴・備考
44	LE14-0039	板橋Ⅲ遺跡	板橋	旧石器 縄文(不明)	散布地	H12	H18一部調査
45	LE14-0105	仁沢瀬Ⅰ遺跡	仁佐瀬	縄文(早～前・中) 弥生	集落跡	既知	H10一部調査 R5範囲変更・一部調査
46	LE14-0127	仁沢瀬Ⅱ遺跡	仁佐瀬 滝沢市に隣接	縄文(不明) 古代(奈良)	集落跡	既知	H3一部調査(滝沢市分)
47	LE14-0230	仁沢瀬Ⅲ遺跡	仁佐瀬 滝沢市に隣接	縄文(不明) 古代(奈良・平安)	集落跡	既知	
48	LE14-0232	仁沢瀬Ⅳ遺跡	仁佐瀬	縄文(早～中?) 弥生 古墳 古代(奈良・平安)	集落跡	既知	H3大部分調査(仁沢瀬Ⅱ遺跡)
49	LE14-0100	仁沢瀬Ⅴ遺跡	仁佐瀬	縄文(早～前)	散布地	既知	H12名称変更(旧:板橋Ⅲ)
50	LE13-1193	掘割遺跡	下町東	縄文(早)	散布地	既知	
51	LE13-2013	滴石古館跡	下町東	中世	城館跡	既知	H17名称変更(旧:古館)
52	LE13-2114	長根遺跡	下町東	縄文(中?)	集落跡	既知	
53	LE13-2280	兎野遺跡	下兎野	縄文(晩)	散布地	既知	H12台帳登録
54	LE13-2138	下長根遺跡	下町東 野中	縄文(前・後) 古代(平安)	集落跡	既知	
55	LE23-0118	野中遺跡	野中	縄文(早～前・後) 弥生	集落跡	既知	S48一部調査
56	LE23-0220	桜松遺跡	野中	縄文(早～前・中・ 後・晩) 古代(平安)	集落跡	既知	S51一部調査 S55一部調査
57	LE13-1292	塩ヶ森Ⅵ遺跡	塩ヶ森	縄文(中) 古代(不明)	集落跡	既知	H13統合 (塩ヶ森Ⅵ+塩ヶ森Ⅶ)
58	LE23-0112	西安庭Ⅳ遺跡	西安庭第16地割	縄文(不明)	散布地	既知	H13統合 (西安庭Ⅳ+西安庭Ⅴ)
59	LE23-0049	西安庭Ⅵ遺跡	西安庭第15地割 西安庭第16地割	縄文(不明)	散布地	既知	
60	LE23-0134	西安庭Ⅲ遺跡	西安庭第16地割	縄文(前～中)	散布地	既知	
61	LE23-0155	下長谷地遺跡	西安庭第15地割	縄文(早～後)	集落跡	既知	S48一部調査 H13名称訂正(旧:下長谷地Ⅱ)
62	LE13-0224	塩ヶ森Ⅰ遺跡	繫第5地割	縄文(前～中)	集落跡	既知	S49・50・54・55一部調査 H13統合(塩ヶ森Ⅰ+塩ヶ森Ⅱ+ 塩ヶ森Ⅲ)
63	LE13-1294	塩ヶ森Ⅴ遺跡	繫第5地割	縄文(早～前) 古代(平安?)	集落跡	既知	
64	LE13-2275	塩ヶ森Ⅷ遺跡	繫第5地割	縄文(不明)	散布地	既知	
65	LE13-0234	元御所Ⅰ遺跡	繫第4地割	縄文(中・後)	集落跡	既知	S55大部分調査
66	LE13-0236	元御所Ⅱ遺跡	繫第4地割	縄文(不明)	散布地	既知	S48大部分調査
67	LE23-0254	御所館跡	繫第2地割	中世	城館跡	既知	H13台帳登録
68	LE13-2248	塩ヶ森Ⅳ遺跡	繫第5地割	縄文(中)	集落跡	既知	
69	LE13-1382	塩ヶ森Ⅸ遺跡	繫第5地割	縄文(不明)	散布地	H11	
70	LE13-0209	イタコ塚古墳	繫第6地割	不明	墳墓	既知	1基現存
71	LE13-0209	御所野Ⅰ遺跡	繫第4地割 繫第6地割	縄文(不明)	散布地	既知	H13統合(御所野Ⅰ+御所野Ⅱ+ 御所野Ⅳ)
72	LE13-2357	御所野ⅢA遺跡	繫第6地割	縄文(不明)	散布地	既知	
73	LE13-2382	御所野ⅢB遺跡	繫第6地割	縄文(不明)	散布地	既知	
74	LE22-2213	矢川館跡	西安庭第8地割	中世	城館跡	既知	
75	LE23-1023	天沼遺跡	西安庭第11地割	縄文(中) 古代(平安)	集落跡	既知	S49大部分調査
76	LE23-1100	熊野橋遺跡	西安庭第14地割 西安庭第15地割	縄文(中)	集落跡	既知	S48～49大部分調査 H13統合(熊野橋Ⅰ+熊野橋Ⅱ)
77	LE23-0095	西安庭Ⅰ遺跡	西安庭第15地割	縄文(後?)	散布地	既知	
78	LE23-0068	西安庭Ⅱ遺跡	西安庭第15地割	古代(奈良)	集落跡	既知	
79	LE23-1050	伝久遺跡	西安庭第31地割	弥生	集落跡	既知	S49大部分調査
80	LE23-1160	戸沢遺跡	西安庭第27地割 西安庭第28地割	縄文(後?)	散布地	既知	S50一部調査(戸沢館遺跡)
81	LE23-1059	戸沢館跡	西安庭第27地割 西安庭第28地割 西安庭第30地割	中世	城館跡	既知	
82	LE23-1107	安庭古墳	西安庭第22地割	中世	墳墓	既知	S49全部調査
83	LE23-1149	町場Ⅰ遺跡	西安庭第24地割	縄文(不明) 古代(不明)	集落跡	既知	

No.	県遺跡コード	遺跡名	所在地	時代	種別	発見年度	調査経歴・備考
84	LE23-1211	町場Ⅱ遺跡	西安庭第24地割	縄文(前)	散布地	既知	S54全部調査 H13名称訂正(旧:町場Ⅳ)
85	LE23-1270	町場Ⅲ遺跡	西安庭第25地割	縄文(早・中・後) 弥生 古代(不明)	集落跡	既知	S53~54大部分調査
86	LE23-2169	町場Ⅴ遺跡	西安庭第46地割	縄文(不明)	散布地	既知	
87	LE23-2211	町場Ⅷ遺跡	西安庭第25地割	縄文(不明)	散布地	H13	
88	LE23-2240	町場Ⅵ遺跡	西安庭第47地割	縄文(不明)	散布地	既知	
89	LE23-2138	町場Ⅶ遺跡	西安庭第46地割	縄文(前)	集落跡	H13	
90	LE23-1272	広瀬Ⅰ遺跡	西安庭第47地割	縄文(不明)	散布地	既知	H13遺跡分割(広瀬Ⅰ・広瀬Ⅱ)
91	LE23-1263	広瀬Ⅱ遺跡	西安庭第47地割	縄文(中)	集落跡	既知	S53大部分調査 H13遺跡分割(広瀬Ⅰ・広瀬Ⅱ)
92	LE23-1129	田屋館遺跡	西安庭第23地割	縄文(前~後) 中世	集落跡 城館跡	既知	
93	LE23-1206	除Ⅱ遺跡	繫第22地割 盛岡市に隣接	縄文(前・中)	集落跡	既知	S51大部分調査
94	LE32-1019	タコの木遺跡	鶯宿第9地割	縄文(晩)	散布地	H13	
95	LE32-1130	夜明沢遺跡	鶯宿第10地割	縄文(後)	散布地	既知	
96	LE32-0159	南畑遺跡	南畑第32地割 南畑第33地割	縄文(中)	集落跡	既知	H11一部調査
97	LE32-1213	柘沢遺跡	西安庭第37地割	縄文(中?)	散布地	H13	
98	LE32-0351	柘沢館遺跡	西安庭第37地割	縄文(中~後) 中世	散布地 城館跡	既知	H17名称変更(旧:柘沢館跡)
99	LE33-1288	柘ヶ沢遺跡	西安庭第52地割	縄文(不明)	散布地	H13	
100	LE33-2301	矢櫃館遺跡	西安庭国有林	中世	城館跡	既知	
101	LE43-0303	芦ヶ平Ⅰ遺跡	西安庭第53地割 西安庭第54地割	縄文(中) 古代(不明)	集落跡	H13	H17名称変更(旧:芦ヶ平)
102	LE51-0358	はたふく遺跡	南畑第7地割 南畑第11地割	縄文(中)	集落跡	既知	
103	LE51-0352	馬場館跡	南畑第3地割	中世	城館跡	既知	H13台帳登録
104	LE51-0367	大村館跡	南畑第7地割	中世	城館跡	既知	
105	LE42-2063	大谷地遺跡	南畑第10地割 南畑第14地割	縄文(後)	集落跡	H12	H14一部調査
106	LE51-1302	田茂木野遺跡	南畑第5地割	縄文(後~晩?)	散布地	H13	
107	LE01-0378	上沢田Ⅰ遺跡	上野上沢田	縄文(前・中・後)	集落跡	H15	
108	LE01-0359	上沢田Ⅱ遺跡	上野上沢田	縄文(前~中・晩)	集落跡	H15	
109	LE01-0329	上沢田Ⅲ遺跡	上野上沢田	縄文(不明)	散布地	H15	
110	KE91-2398	上沢田Ⅳ遺跡	上野上沢田	縄文(中~後?)	集落跡	H15	
111	LE02-0043	上沢田Ⅴ遺跡	上野上沢田	縄文(晩) 弥生	集落跡	H15	
112	LE02-0044	上沢田Ⅵ遺跡	上野上沢田	縄文(中?・晩)	集落跡	H15	
113	LE02-1006	上沢田Ⅶ遺跡	上野上沢田	縄文(後~晩)	散布地	H15	
114	LE02-1013	横欠遺跡	上野上沢田	縄文(後~晩)	集落跡	H15	
115	LE00-1263	大平Ⅰ遺跡	橋場坂本	縄文(中?)	散布地	H15	
116	LE00-1232	大平Ⅱ遺跡	橋場坂本	縄文(後~晩?)	集落跡	H15	
117	LE01-2095	上野山Ⅰ遺跡	橋場上野山	縄文(前~中)	集落跡	H15	
118	LE01-2074	上野山Ⅱ遺跡	橋場上野山	縄文(不明)	散布地	H15	
119	LE01-2063	上野山Ⅲ遺跡	橋場上野山	縄文(前~中)	集落跡	H15	
120	LE11-0024	上野山Ⅳ遺跡	橋場上野山	縄文(後~晩)	散布地	H15	
121	LE01-2122	安栖野遺跡	橋場安栖	縄文(早~中・晩)	集落跡	H9	H10大部分調査
122	LE01-2245	上野沢Ⅰ遺跡	上野松嶺	縄文(後~晩)	散布地	H15	
123	LE01-2252	上野沢Ⅱ遺跡	上野松嶺	縄文(不明)	集落跡	H15	
124	LE01-2291	上野沢Ⅲ遺跡	御明神山津田	縄文(不明)	散布地	H15	
125	LE01-2230	上野沢Ⅳ遺跡	上野松嶺	縄文(晩)	集落跡	H15	
126	LE02-2070	上和野館跡	上野下沢田	中世	城館跡	既知	
127	LE02-2035	下沢田Ⅰ遺跡	上野下沢田	縄文(中?)	散布地	H15	
128	LE02-2043	下沢田Ⅱ遺跡	上野下沢田	縄文(中?)	散布地	H15	
129	LE02-2082	上和野遺跡	上野上和野	縄文(不明)	散布地	H15	
130	LE12-0123	天神館遺跡	上野天神 上野曾利	縄文(前~中) 古代(平安?) 中世	集落跡 城館跡	既知	H10一部調査 H15名称変更(旧:天神館跡)
131	LE11-1122	安栖遺跡	橋場安栖	縄文(不明)	散布地	H15	
132	LE11-1170	小赤沢Ⅰ遺跡	御明神堂前	縄文(不明)	散布地	H15	
133	LE11-1182	小赤沢Ⅱ遺跡	御明神堂前	縄文(後~晩)	集落跡	H15	

No.	県遺跡コード	遺跡名	所在地	時代	種別	発見年度	調査経歴・備考
134	LE11-2103	小赤沢 黒曜石採取地跡	御明神堂前	その他	その他	既知	H15台帳登録
135	LE11-2125	小赤沢Ⅲ遺跡	御明神堂前	縄文(晩)	散布地	H15	
136	LE11-2125	小赤沢館跡	御明神堂前	中世	城館跡	既知	
137	LE11-2226	赤淵一里塚跡	御明神赤淵	近世	一里塚	既知	H15台帳登録
138	LE11-1364	大館跡	御明神山津田	中世	城館跡	既知	
139	LE11-2356	高見館遺跡	御明神平渡	縄文(晩) 中世	集落跡 城館跡	既知	H15名称変更(旧:高見館跡)
140	LE12-0180	和野館跡	上野中野	中世	城館跡	既知	
141	LE12-1032	上春木場Ⅰ遺跡	上野松嶺	縄文(不明)	集落跡	既知	
142	LE12-1025	上春木場Ⅱ遺跡	上野二ツ森	縄文(不明)	散布地	既知	
143	LE12-1143	春木場遺跡	上野片子	縄文(不明)	散布地	既知	
144	LE12-1145	新里館跡	上野片子	中世	城館跡	既知	
145	LE12-2048	古館跡	御明神古館 御明神南野	中世	城館跡	既知	H15台帳登録
146	LE12-2054	南野Ⅰ遺跡	御明神南野	縄文(中~後)	集落跡	H15	
147	LE11-2374	虚空蔵西遺跡	御明神虚空蔵	縄文(不明)	散布地	H15	
148	LE11-2386	虚空蔵遺跡	御明神虚空蔵	縄文(後~晩) 中世	集落跡 社寺跡	既知	S38大部分調査 H15台帳登録
149	LE11-2398	虚空蔵東Ⅰ遺跡	御明神虚空蔵	縄文(不明)	散布地	H15	
150	LE22-0031	虚空蔵東Ⅱ遺跡	御明神虚空蔵	縄文(前~中)	集落跡	H15	
151	LE22-0012	石山遺跡	御明神石山	縄文(不明)	散布地	H15	
152	LE22-0035	南野Ⅱ遺跡	御明神南野	縄文(不明)	散布地	H15	
153	LE22-0163	大石野遺跡	御明神大石野	縄文(前~中)	集落跡	H15	
154	LE22-0139	大曲戸遺跡	御明神大曲戸	縄文(不明)	散布地	H15	
155	LE20-2289 LE30-0227	中の館跡	御明神モッコ岳	中世	城館跡	既知	
156	KE72-0185	湯の沢館跡	網張国宍林	中世	城館跡	既知	
157	KE72-1192	有根館跡	長山小松倉	中世	城館跡	既知	
158	KE82-0231	篠森館跡	長山館 長山猫沢	中世	城館跡	既知	
159	KE82-0261	斉内遺跡	西根斉内	縄文(中)	散布地	H16	
160	KE82-1165	栗木平Ⅰ遺跡	西根栗木平	縄文(中)	散布地	H16	
161	KE82-1157	西篠崎Ⅰ遺跡	西根西篠崎	縄文(中・晩)	集落跡	H16	
162	KE82-1178	西篠崎Ⅱ遺跡	西根西篠崎	縄文(中~後)	集落跡	H16	
163	KE82-0253	館遺跡	長山館	縄文(中)	散布地	H16	
164	KE82-0322	篠ヶ川原遺跡	長山猫沢 長山盆花平	縄文(不明)	集落跡	H9	
165	KE82-0380	的館跡	長山館	中世	城館跡	既知	
166	KE82-2231	堀切遺跡	西根堀切	縄文(中~後)	集落跡	H16	
167	KE82-1186	栗木平Ⅱ遺跡	西根栗木平	縄文(中・晩)	散布地	H16	
168	KE82-2127	栗木平Ⅲ遺跡	西根栗木平	縄文(早~後)	散布地	H16	
169	KE82-2157	上西根Ⅰ遺跡	西根栗木平	縄文(中~後) 古代(平安)	集落跡	既知	H16名称変更(旧:上西根1)
170	KE92-0154	上西根Ⅱ遺跡	西根清水端	縄文(中~後~晩)	集落跡	既知	H16名称変更(旧:上西根2)
171	KE92-0157	上西根Ⅳ遺跡	西根栗木平	縄文(晩)	散布地	H16	
172	KE92-0181	上西根Ⅴ遺跡	西根田茂木	縄文(中~後)	集落跡	H16	
173	KE91-2379	上生堀Ⅰ遺跡	西根上生堀	縄文(中) 古代(平安)	集落跡	H16	
174	KE92-1121	上西根Ⅲ遺跡	西根清水端 西根田茂木	縄文(前~後・晩)	集落跡	既知	H16名称変更(旧:上西根3)
175	KE92-1150	上西根Ⅵ遺跡	西根北妻	縄文(後)	散布地	H16	
176	KE92-1170	上西根Ⅶ遺跡	西根北妻	縄文(後)	散布地	H16	
177	KE92-1139	合野々Ⅰ遺跡	西根合野々	縄文(不明)	散布地	H16	
178	KE92-1189	合野々Ⅱ遺跡	西根合野々	縄文(中~後)	集落跡	H16	
179	KE92-2104	八丁野遺跡	西根八丁野	縄文(中・後・晩) 古代(平安)	集落跡	H16	
180	KE92-2230	大宮Ⅰ遺跡	西根大宮	縄文(後)	散布地	H16	H17名称変更(旧:大宮)
181	LE02-0111	上生堀Ⅱ遺跡	西根上生堀	縄文(後)	集落跡	H16	
182	KE92-1356	長山館跡	長山狼沢	中世	城館跡	既知	
183	KE92-1326	稲荷山馬場遺跡	長山狼沢	縄文(前~後)	集落跡	既知	
184	KE92-1328	林の沢遺跡	長山林の沢	縄文(後~晩)	集落跡	H16	
185	LE02-0243	下駒木野遺跡	西根下駒木野	縄文(中)	集落跡	H16	
186	LE02-1208	葛根田古館跡	西根葛根田	中世	城館跡	既知	

No.	県遺跡コード	遺跡名	所在地	時代	種別	発見年度	調査経歴・備考
187	LE02-0395	土樋館跡	長山中上	中世	城館跡	既知	
188	LE13-0016	晴山古墳	長山麓台久保	不明	墳墓	既知	3基現存 H16名称変更(旧:晴山)
189	LE23-0090	籬野遺跡	西安庭第11地割	縄文(不明) 古代(平安)	集落跡	既知	H17台帳登録
190	LE33-0287	矢櫃遺跡	西安庭第48地割	縄文(不明)	散布地	S59	H17台帳登録
191	LE33-1219	林平I遺跡	西安庭第49地割	縄文(不明)	散布地	S59	H17台帳登録
192	LE33-1227	林平II遺跡	西安庭第49地割	縄文(不明)	散布地	S59	H17台帳登録
193	LE33-1235	林平III遺跡	西安庭第49地割	縄文(不明)	散布地	S59	H17台帳登録
194	LE43-0345	芦ヶ平II遺跡	西安庭第53地割	縄文(不明)	散布地	S59	H17台帳登録
195	LE32-0136	板越遺跡	西安庭第1地割 西安庭第2地割	縄文(中)	集落跡	H16	H17台帳登録
196	LE13-2334	御所野V遺跡	繫第6地割	不明	集落跡	既知	H17台帳登録
197	KE82-2372	早坂館跡	長山早坂	中世	城館跡	H11	H17台帳登録
198	-	和野遺跡	上野糠塚付近	縄文(不明)	散布地	-	地点不明・H17台帳登録
199	-	小淵遺跡	南畑第18地割付近	縄文(不明)	散布地	-	地点不明・H17台帳登録
200	-	用の沢上塚遺跡	西安庭第5地割付近	縄文(中～後) 古代(平安?)	集落跡	-	地点不明・H17台帳登録
201	-	天川遺跡	御明神天川付近	縄文(中)	散布地	-	地点不明・H17台帳登録
202	-	八幡遺跡	上野八幡付近	縄文(中?)	集落跡	-	地点不明・H17台帳登録
203	-	大宮II遺跡	西根大宮付近	古代(平安?)	集落跡	-	地点不明・H17台帳登録
204	-	芦ヶ沢遺跡	西安庭第10地割付近	弥生 古代(奈良・平安)	集落跡	-	地点不明・H17台帳登録
205	-	籬遺跡	御明神籬付近	縄文(不明)	散布地	-	地点不明・H17台帳登録
206	-	清水沢遺跡	西安庭第41地割付近	縄文(不明)	散布地	-	地点不明・H17台帳登録
207	-	松木遺跡	長山松木付近	弥生	散布地	-	地点不明・H17台帳登録
208	-	中の館周辺遺跡	御明神モッコ岳付近	古代(不明)	集落跡	-	地点不明・H17台帳登録
209	-	小日谷地遺跡	小日谷地付近	古墳	集落跡	-	地点不明・H17台帳登録
210	-	山津田遺跡	御明神山津田付近	縄文(晩)	集落跡	-	地点不明・H17台帳登録
211	LE14-0102	仁沢瀬VI遺跡	仁佐瀬	縄文(不明)	散布地	R6	R6新規登録

## 5. 埋蔵文化財発掘調査報告書一覧

通冊	書籍名	発刊年月	特記事項
第1集	仁沢瀬I遺跡発掘調査報告書	平成11年3月	
第2集	小日谷地IB遺跡発掘調査報告書	平成12年3月	
第3集	町内遺跡詳細分布調査報告書(栗石地区)	平成13年3月	平成12年度国庫補助事業活用
第4集	町内遺跡詳細分布調査報告書(御所地区)	平成14年3月	平成13年度国庫補助事業活用
第5集	大谷地遺跡発掘調査報告書	平成14年3月	
第6集	町内遺跡詳細分布報告書(御明神地区)	平成15年3月	平成14年度国庫補助事業活用
第7集	町内遺跡詳細分布報告書(西山地区)	平成16年3月	平成15年度国庫補助事業活用
第8集	町内遺跡詳細分布調査報告書(補足・総括)	平成17年3月	平成16年度国庫補助事業活用
第9集	栗石町遺跡地図	平成17年3月	平成16年度国庫補助事業活用
第10集	小日谷地IB遺跡発掘調査報告書 (平成14～16年度・18年度分)	平成19年3月	平成14～16年度緊急雇用対策事業活用
第11集	板橋III遺跡発掘調査報告書	平成20年3月	
第12集	小日谷地IB遺跡発掘調査報告書(平成21年度分)	平成22年3月	平成21年度緊急雇用対策事業活用
第13集	小日谷地IB遺跡発掘調査報告書(平成24年度分)	平成25年3月	平成24年度緊急雇用対策事業活用
第14集	小日谷地IB遺跡発掘調査報告書 (平成25～27年度分)	平成28年3月	
第15集	小日谷地IB遺跡発掘調査報告書 (平成11年度～27年度分・中間総括編)	平成28年3月	
第16集	小日谷地IB遺跡発掘調査成果図録 「栗石・1000年続いた縄文のムラ～小日谷地IB遺跡」	平成28年3月	
第17集	栗石城(滴石城)跡発掘調査報告書	平成31年1月	平成30年度国庫補助事業活用

## 6. 雫石町史等各種学習資料一覧

※網掛け部：「文化的な遺産」に関するもの

種別	通冊	書籍名	発刊年月	特記事項
町史	(1)	雫石町史	昭和54年1月	頒布終了
	(2)	雫石町史 第2巻	平成元年10月	
	—	雫石町史通史編「甦る雫石郷の歴史」	平成25年3月	
町誌史料	第1集	雫石歳代日記	昭和38年3月	
	第2集	雫石街道の歴史	昭和42年3月	頒布終了
	第3集	郷土史年表 明治以降	昭和45年3月	頒布終了
	第4集	繫村肝入館市家留書	平成12年3月	
	第5集	中世の雫石と戸沢氏	平成24年3月	(一般頒布なし)
	第6集	雫石町歴史民俗資料館収蔵古文書	平成24年3月	(一般頒布なし)
戦時体験記	第1集	徴用挺身隊 義勇軍	昭和57年3月	
	第2集	第一線	昭和61年3月	
	第3集	戦時協力行政	昭和61年3月	
	第4集	教育	昭和61年3月	
	第5集	生産 交通 社会	昭和61年3月	
心のふるさとシリーズ	第1集	雫石の民話(1)	昭和47年3月	頒布終了
	第2集	雫石の民話(2)	昭和48年3月	頒布終了
	第3集	雫石の石碑	昭和49年3月	
	第4集	雫石の年中行事と子供の遊び	昭和55年3月	頒布終了
	第5集	雫石の郷土芸能	昭和55年9月	
	第6集	雫石の旧家	昭和57年3月	頒布終了
	第7集	雫石の中世城館	昭和63年3月	頒布終了
	第8集	雫石の寺社	平成元年3月	
	第9集	雫石の民具-わら-	平成3年2月	
	第10集	雫石盆地の地名	平成8年7月	
	第11集	雫石通細見路方記(上)	平成10年11月	

